

はじめに

学校では、ポスターや新聞、授業のまとめなどいろいろなものをつくります。そのときに「Canva」を使うと、だれでもかわいい、すてきなデザインのものをつくることができます。

『かんたん自由にデザイン学校でCanva』シリーズでは、Canvaの基本的な使い方や、どんなものをつくるのかのアイデアを、

たくさんの写真とともに紹介しています。ぜひCanvaを使って、思い通りにデザインをすることを楽しんでください。

3巻の『動画、Webサイト、プレゼン資料などをつくろう』では、Canvaを使って専門的な知識なしで動画やWebサイトなどをつくる方法を説明しています。



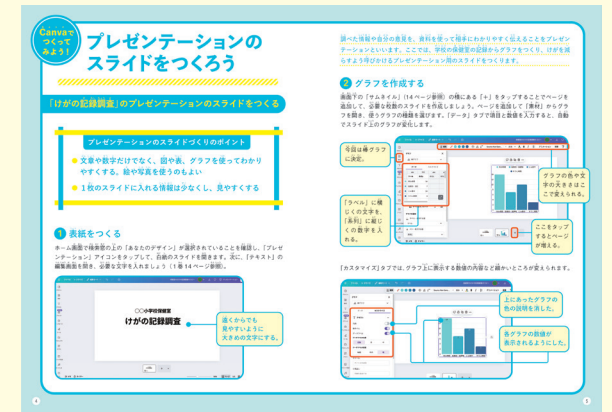
もくじ

- プレゼンテーションのスライドをつくろう..... 4
- リーフレットをつくろう 8
- パンフレットをつくろう..... 12
- デザインのコツ① 16
- 動画をつくろう 18
- デザインのコツ② 22
- Webサイトをつくろう 24
- Canvaを使っている学校を見よう 28
- さくいん 30

この本の使い方

1 Canvaの操作方法がわかる

デザインを進める手順を説明し、そのときに使う機能をくわしく案内します。



2 Canvaで何ができるのかわかる

実際に紙面でデザインを進めながら、どんなものがCanvaでつくれるかを説明します。



3 Canvaのデザインのコツがわかる

学校の授業の中で、Canvaを使って動画やWebサイトなどをつくる時に知っていると便利な操作方法などを紹介します。



プレゼンテーションの スライドをつくろう

「けがの記録調査」のプレゼンテーションのスライドをつくる

プレゼンテーションのスライドづくりのポイント

- 文章や数字だけでなく、図や表、グラフを使ってわかりやすくする。絵や写真を使うのもよい
- 1枚のスライドに入れる情報は少なくし、見やすくする

1 表紙をつくる

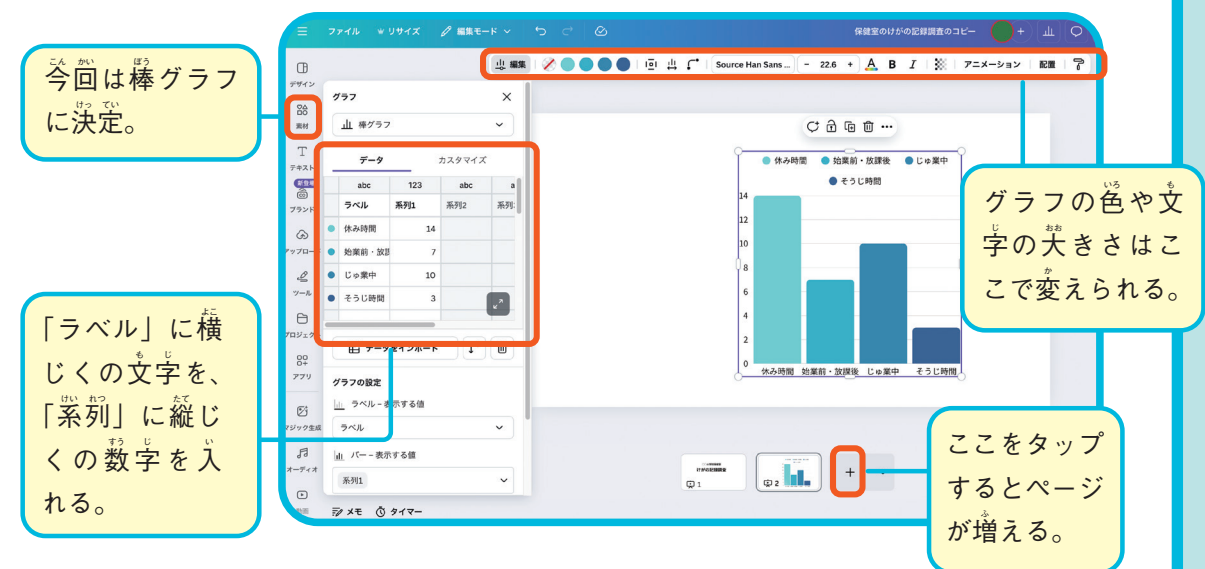
ホーム画面で検索窓の上の「あなたのデザイン」が選択されていることを確認し、「プレゼンテーション」アイコンをタップして、白紙のスライドを開きます。次に、「テキスト」の編集画面を開き、必要な文字を入れましょう（1巻14ページ参照）。



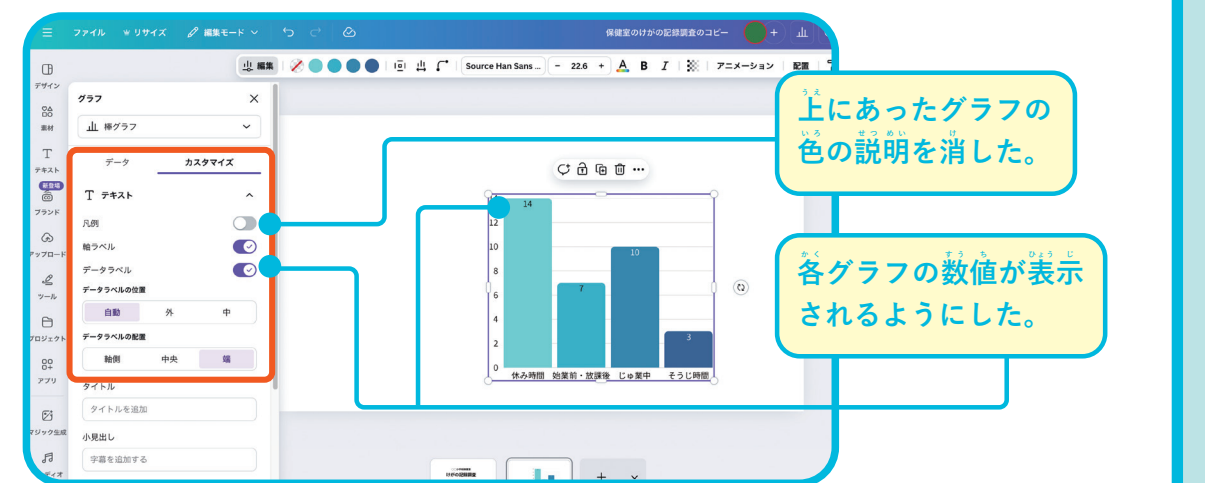
調べた情報や自分の意見を、資料を使って相手にわかりやすく伝えることをプレゼンテーション（プレゼン）といいます。ここでは、学校の保健室の記録からグラフをつくり、けがを減らすよう呼びかけるプレゼンテーション用のスライドをつくりま

2 グラフを作成する

画面下の「サムネイル」（14ページ参照）の横にある「+」をタップすることでページを追加して、必要な枚数のスライドを作成しましょう。ページを追加して「素材」からグラフを開き、使うグラフの種類を選びます。「データ」タブで項目と数値を入力すると、自動でスライド上のグラフが変化します。



「カスタマイズ」タブでは、グラフ上に表示する数値の内容など細かいところを変えられます。



デザインのコツ②

色の使い方

色にはそれぞれが持つイメージがあります。これからつくるもののイメージに合う色を使うと、見る人に伝わりやすいデザインができます。また、「どんなふうに見せたいか」で使う色を選ぶことも大切です。

代表的な色のイメージは以下のようなものです。

赤 情熱的、興奮、危険、熱い、からい

青 かしこい、さわやか、水、落ち着き、冷たい

緑 自然、安全、健康、いやし

黄 明るい、元気、光、注意

地球のために私たちができること

3R（リデュース、リユース、リサイクル）を意識したエコ活動で、資源を大切に使いましょう。

- 買い物はマイバッグで！
- ごみは正しく分別しよう

地球のために私たちができること

3R（リデュース、リユース、リサイクル）を意識したエコ活動で、資源を大切に使いましょう。

- 買い物はマイバッグで！
- ごみは正しく分別しよう

ひとつのデザインの中で多くの色を使いすぎてしまうと何が大事な情報がわからなくなってしまいます。使う色を3色程度におさえると、見やすいデザインになります。右と左を見比べると、緑、黄色、黒の3色だけを使った右の方がすっきりと見やすいことがわかります。

どんな色や文字を使うかは、それが使われているデザインの印象に影響します。ここでは、読みやすいデザインにするために押さえておきたい、色の使い方とフォントの選び方のポイントを説明します。

フォントの選び方

フォントとは文字の形のことで、どんな雰囲気に見せたいかによって選ぶフォントを変えると、より見る人に伝わりやすいものができます。日本語のフォントは、大きく「明朝体」と「ゴシック体」のグループに分かれます。

明朝体

明朝体は上品できちんとした印象なので、かしまった文章を書くときに適しています。小さく印刷しても読みやすいので、小説や雑誌の本文によく使われます。

ゴシック体

ゴシック体は親しみやすい印象で、力強い雰囲気にしたときにも適しています。遠くからでも見やすく、看板やプレゼンテーションのスライドによく使われます。

明朝体とゴシック体のほかにも、手書きふうのフォントや、筆で書いたようなもの、デジタルっぽいものなど数多くのフォントがありますが、フォントもまた、ひとつのデザインの中で何種類も使うと読みづらくなります。

フォントを使うのは多くても3種類くらいまでにして、強弱をつけたいときは同じフォントで太さを変えるようにすると読みやすくなります。右と左を見比べると、フォントを統一した右の方が読みやすいことがわかります。

遠足のお知らせ

行き先：〇〇公園
日時：〇月〇日 8:00

持ち物：ハンカチ、
雨具、水筒、お弁当

地図

住所：〇〇県△△市

遠足のお知らせ

行き先：〇〇公園
日時：〇月〇日 8:00

持ち物：ハンカチ、
雨具、水筒、お弁当

地図

住所：〇〇県△△市